

学習課題

みんなで解決したい問い

白神山地の自然を守るにはどうすればよいのか考え、意見文を書こう。

主体的に学習に取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

- ⑦ 白神山地に関する資料を読み、自分の考えの根拠となる情報を捉えている。(2ア)

考えること・表すこと

思考・判断・表現

- ① 意見文を書くための根拠となる情報を見つけて、自分の考えをまとめている。(C1ウ)
- ② 考えの異なる意見のよさについて捉え、自分の考えをまとめている。(C1オ)

工夫して学ぼうとすること

- ④ 連続型テキスト、非連続型テキストといった複数の情報を繰り返し読み、自分の考えの根拠を確かめながら、相手に意見が伝わるように何度も意見文を書き直して伝えようとする。

【第3ステージ (2) 時間】

評価 ①

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ⑧⑨全体の構成と内容を考えながら意見文を書く。

【第1ステージ (1) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ① 白神山地を題材にした「ブナの森が支える豊かな自然」「白神山地の自然保護—「緩衝地域」の役割」を読み、自然を守るためにはどうすればよいのか、自分の立場を明らかにして意見文を書くという学習課題を立てる。

【第2ステージ (6) 時間】

評価 ②③④

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ②③④連続型テキスト、非連続型テキストといった複数の情報を繰り返し読み、白神山地の自然についてわかったことをまとめる。
- ⑤⑥複数の情報を読み、わかったことを根拠にして、自然保護についての自分の考えをまとめる。
- ⑦友達と読み合い、異なる意見のよさを考えることを通して、自分の意見を吟味する。

【この単元を通した振り返り】 振り返りの観点

- 複数の情報を読むときに、どのようなことに気がつけましたか。
- 自分の考えをまとめるときに、どのようなことに気がつけましたか。

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

【この単元に関わって知っていること・できること】

文章を読み、わかったことや考えたことを説明したり意見を述べたりする活動を通して、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

小学校5年『世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう』授業のポイント

単元名 多様な情報から考えの根拠を見つけ、意見文を書こう

本教材には、世界自然遺産である白神山地をどのように守っていくべきかということを考えるために、連続型テキストだけでなく、非連続型テキストも掲載されています。そのため、さまざまな資料の読み方についても学ぶことができる教材となっています。複数の資料に書かれている内容を比較しながら読むことで、子どもたちは自然に関して深く考え、自分の考えを明らかにしていくことができます。



1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、白神山地の自然について説明や解説が書かれた連続型テキストや非連続型テキストなど、複数の文章を比較しながら読んでいく力をつけます。また、資料を読んでわかったことや考えたことを関連づけながら、意見文にまとめることができますようにします。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	• 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。…(2ア)
思考・判断・表現	• 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。…C(1)ウ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。…C(1)オ
主体的に学習に取り組む態度	• 粘り強く必要な情報を見つけたり論の進め方について考えたりして、自らの学習を調整しながら複数の資料を読み、考えたことを意見文にまとめようとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、教材文『世界遺産 白神山地からの提言』を読み、どのようにして白神山地を守っていくべきなのかを考えます。連続型テキストや非連続型テキストといった多様な情報から自分の考えの根拠を見つけ、意見文にまとめます。

第2ステージでは、②③④の段階において、複数の資料から情報を読み、白神山地の自然についてわかったことをまとめます。そして、第2ステージの⑤⑥では、複数の資料からわかったことを根拠にして自分の考えをまとめます。⑦では、自分の考えと異なる意見を読み、自分の考えを見直します。

第3ステージでは、これまでまとめた自分の考えをもとに、全体の構成や内容を考えながら、意見文を書きます。

「ブナの森が支える豊かな自然」と「白神山地の自然保護—「緩衝地域」の役割」を読み、わかったことと課題だと思ったことを書いた文章例

<p>いくのか課題だと思っ</p> <p>やって世界遺産を守</p> <p>思った。人間が今後、</p> <p>産を守っているのだ</p> <p>まりがあること、世</p> <p>ことわかった。多く</p> <p>いろいろなきまり</p> <p>いろいろなきまり</p> <p>るのではないと思</p> <p>世界遺産を守るた</p> <p>ことではないと思</p> <p>の生活に、困るこ</p> <p>近くに住んでいる</p> <p>この自然がなくな</p> <p>間にとって役に立</p> <p>B 白神山地の自然</p>	<p>だと思っ</p> <p>このようにするこ</p> <p>域」を作ったのだ</p> <p>きと、自然をこ</p> <p>ごがあつたから</p> <p>域」のような場所</p> <p>入ることができ</p> <p>だと思っ。そのた</p> <p>が大事にして楽し</p> <p>わたしは、自然は</p> <p>ないことがわか</p> <p>は、簡単に入るこ</p> <p>ることや、「核</p> <p>A 白神山地には、「核</p>
--	---

解説

A・Bともに資料を読み、わかったことを冒頭に書いています。そのうえで、書かれている内容から考えたことや疑問に思ったことをまとめています。文章を読み、課題として捉えたことはそれぞれ異なっています。Aは「核心理域」の存在に着目し、設定された原因と今後のあり方について取り上げています。Bは白神山地のきまりに着目し、きまりのあることの意義と今後の守り方について述べています。

ワンポイント

【単元を通した振り返り】で自分の学びを確認！！

単元の終わりに次のような観点で振り返り、自分の学びを確認します。そして、どのようなことができるようになったのかを自覚できるようにします。

- 1 複数の情報を読むときに、どのようなことに気がつけましたか。
- 2 自分の考えをまとめるときに、どのようなことに気がつけましたか。

解説

1では、連続型テキストや非連続型テキストといった様式の異なる資料から、どのようにして情報を読んだのかを振り返るようにします。資料のどのような点に気がつけて読んだのかを振り返ることで、必要に応じた資料の読み方について確認することができます。2では、自分の考えを意見文としてまとめた際の工夫について振り返るようにします。読み手に自分の考えが伝わるかどうか何度も読み返し、資料を何度も確認することで、考えがまとまっていくことを確認します。

ラーニング・マウンテンについてはこちらから



みんなで解決したい問い

わかること・できること

考えること・表すこと

工夫して学ぼうとすること

【第3ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....

【第1ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....

【第2ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....

【この単元を通したふり返り】

ゴール

【この単元に関わって知っていること・できること】

スタート

